

平成28年1月28日開催定例美祢市教育委員会会議録

開催日時 平成28年1月28日（木）午後3時30分から午後4時57分
開催場所 美祢図書館「視聴覚室」

出席委員 前田 耕次 委員長
秋山 信登 委員長職務代理者
古屋 道子 委員
井上 敏雄 委員
永富 康文 委員 5人

出席教育委員会事務局職員 山田 悦子 事務局長
末岡 竜夫 事務局次長
千々松雅幸 // 教育総務課長
津守 一郎 // 学校教育課長
古屋 敦子 // 生涯学習スポーツ推進課長
高橋 文雄 // 文化財保護課長
森田 孝一 // 文化財保護課主幹
井上 辰巳 // 美東事務所長
安永 一男 // 秋芳事務所長
新家 健司 // 教育総務課長補佐
福屋 憲道 // 学校教育課長補佐
野本 靖 // 生涯学習スポーツ推進課長補佐

12人

開 会

前田委員長

午後3時30分 委員全員の出席を確認し開会を告げ、署名委員に永富委員、秋山委員を指名する。

前田委員長

前回の会議録の承認について、事前に各委員へ配布された会議録への意見、質問を求める。

全員承認

前田委員長

行事関係について教育長の報告を求める。

永富教育長

市内の小・中学校においては3学期が始まり、校庭や教室には、児童・生徒の生き生きとした元気な姿が戻ってきている。年が明けてすでにお会いしているが、あらためて今年もよろしくお願ひ申し上げる。

さて、前回の教育委員会議以降の行事報告を申し上げる。行事の概要はお手元にお配りしている資料のとおりであるが、特に5点ほど報告する。

その1つ目は、1月7日に美祢子ども交流塾の行事で、九州大学・九州国立博物館を見学したことである。私は日程の都合で参加できなかったが、九大伊都キャンパスで、牧原正記教授から「水素が作る低炭素社会の実現」という演題でお話しをお聞きしたようである。牧原教授からは、地球には年間5万トンの隕石が落下しているが、地球の体積は増えているかとの質問があったそうである。答えは否である。地球からは、逆に9万トンの水素が出て行っているそうである。また、大学の施設を見学し、学食で昼食を食べたようであり、大学体験の中で、こんな大学でいずれ学んでみたいとの思いを強くしたようである。塾生は、「世界最高水準の水素研究の一端に触れ、日本の技術のレベルの高さが分かった。」とか、「水素が人類にとってこれほど役に立つもので、無限の可能性を秘めているとは知らなかった。」等様々な感想を述べていた。このことで、科学への目を開かせられたり、あるいは、将来への希望を掻き立てられたりしたことと思っている。九州国立博物館では、「黄金のアフガニスタン展」を見学した。古くから文明の十字路と言われているアフガニスタン、そこには、様々な地域から人々が集まり、華麗な文化が花開いたと言われている。彼の地の悠久の歴史を雄弁に物語る遺跡・遺物に触れ、塾生は、文化の果たす役割の大きさに、あらためて気がついたのではないか。文化が続く限り、その国は滅びないということであろう。詳しくは、「美教委通信」をご覧いただきたい。なお、1月16日には、1月定例集会を開き、美祢市のまちづくりについての提言をまとめており、その結果を、3月12日（土）の卒塾式のときに発表することとしている。

2つ目は、1月10日に成人式を行ったことである。委員の皆様にも御出席いただき、一緒にお祝いした。成人者はいずれも初々しく、また礼儀もわきまえていた。新成人の「誓いの言葉」もしっかりしており、素晴らしい成人式

になった。委員長には、紙上ではあるが、新成人に対して心のこもったお祝いと激励のお言葉をいただいた。なお、新成人に該当する者 283 名中 202 名が出席、出席率は 71.4%であった。出席率は、一昨年度までは 80%台で推移していたが、若干下がったようである。しかしながら、天候に恵まれ、内容的にも、新成人は成人式を盛り上げてくれた。毎年の定番であるが、中学校の卒業アルバムからの写真から制作したビデオ放映は好評で、共に過ごした級友との思い出、恩師への感謝の気持ちが伝わるもので、このような思いが共有されていることが、信頼と良識で結ばれた地域社会・コミュニティを形成する上で重要な基盤になるものと思っている。あらためて美祢市の若者の素晴らしさを感じられた。アトラクションもよかった。御感想や御意見があれば、後でお出しいただきたい。

3つ目は、1月14日に1月臨時市議会が開催されたことである。市教委の所管業務に係る提出議題等はなかった。

4つ目は、1月20日に美祢市栄光賞選考委員会を開催したことである。委員長には選考委員会の委員長としてお骨折りをいただいた。現時点で、受賞者の総数は、美祢市栄光賞、文化の部が6人、体育・スポーツの部が14人と6団体、美祢市体育協会優秀選手賞が個人10人、2団体、総計で30人・8団体が表彰されることになる。県や全国レベルで成果を上げた受賞者がたくさんあり、嬉しい限りである。2月17日に授与式を行うので、委員の皆様には御出席をお願いする。

5つ目は、1月22日に、学力向上対策推進事業第3回推進委員会を開催したことである。市教委からは、すでに前回の会議で報告しているが、昨年10月に実施した山口県の学力定着状況確認問題の確定結果の報告と、その分析をプレゼンし、続いて各学校から学力向上に向けた取組の進捗状況について報告していただいた。そして、最後に「教えて考えさせる授業づくり」に係るハンドブックの作成に向けた実践事例の検討を行った。なお、学力定着状況確認問題の確定結果と、それを踏まえた今後の取組については、後で、担当課から報告する。

その他の行事については、別紙資料のとおりである。

「その他」については、特になし。

以上で報告を終わる。

前田委員長

教育長からの報告に対し、何か意見はないか。成人式のアトラクションはどうであったか。

古屋委員

式典も成人の皆さんとても立派な態度で、アトラクションも一緒に参加できるようなもので、大変よかったと思う。

秋山委員

最後はゴスペルで大変盛り上がったように思う。成人者も一緒になって、すごい迫力があった。

前田委員長

来年もまた、参加型の成人式になるようなものを企画していただくといいと思う。

前田委員長

議案第1号「美祢市教育委員会行政組織規則の一部改正」について説明を求める。

千々松教育総務課長

組織見直しにより、生涯学習スポーツ推進課青少年係を生涯学習係へ統合するものであり、関連する業務を一体的に行うことで、業務の効率化と個々の連携強化により、一層の生涯学習の推進を図るためのものである。また、豊田前学校給食共同調理場の廃止により、規則の一部改正を行うものである。この規則は、平成28年4月1日から施行する。

前田委員長

特に質疑がないことを確認し、議案第1号は承認される。

前田委員長

議案第2号「美祢市教育委員会公印取扱規則の一部改正」について説明を求める。

千々松教育総務課長

豊田前学校給食共同調理場の廃止、秋芳南中学校・秋芳北中学校の廃止、秋芳中学校の新設により公印の個数を変更するものである。この規則は、平成28年4月1日から施行する。

前田委員長

特に質疑がないことを確認し、議案第2号は承認される。

前田委員長

議案第3号「美祢市立小中学校の通学区域に関する規則の一部改正」につい

て説明を求める。

津守学校教育課長

秋芳南中学校・秋芳北中学校が閉校し、秋芳中学校が開校することにより、通学区域に関する規則の一部改正を行うものである。

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

前田委員長

特に質疑がないことを確認し、議案第3号は承認される。

前田委員長

続いて、「美祢市の博物館等」について協議を行う。

前田委員長

歴史民俗資料館、化石採集場、化石館、長登銅山文化交流館、秋吉台科学博物館について、どれくらいの入館者等があるかと思い、事務局に資料を提出させた。

歴史民俗資料館については、年間1,500人程度の入館者がある。そのうちの約半分が、文化祭や音楽祭の際の小・中学生の特別入館である。入館者の減少傾向がある。月で100人程度の入館者があるが、企画展があるときは、入館者が多い。

化石館については、平成25・26年度の入館者は、約3,700人である。特別入館者は、その1割程度である。5月の連休や8月の夏休みに入館者が集中している。平成24年度には約4,400人の入館者があったが、毎年、少しずつではあるが減少傾向にある。ただ、ミニ企画展を行うと、人が多く集まっている。

化石採集場については、平成26年度は2,500人の入場者がある。やはり5月の連休や夏休みの入場者が多い。大変人気のある場所と思っている。これも平成24年度からの入場者の推移を見ると減少傾向にある。

長登銅山文化交流館については、平成25年度は2,500人の入館者がある。この施設については、特別入館者が約1,400人で、研修室を利用した人が約2,300人である。特に10月の銅山まつりの際の入館者が多い。年々入館者が増加している傾向が見られる。交流館の企画と秋吉台地域のエコツアーリズム協会との共同企画で多くの人々がここに集まってきている。

秋吉台科学博物館については、平成21年度は、約46,000人の入館者がある。これ程の入館者があるとは思わなかった。ただ、年々減少しているが、平成26年度は31,000人の入館者がある。修学旅行の研修指導をこの施設で受けれるということで、人気が出てきている。入館料が無料であることが、人気の理由の1つだと思う。平成26年度の5施設の入館者は47,653人であり、美祢市の人口の約2倍の人になる。美祢市の間人だけが見ているのではなく、市外・県外の観光客によるものだと思う。これだけ多くの人が集まっているということは、各館のPRが行き届いているからだと思い、ホームページを開いてみた。

美祢市の博物館で検索すると、この5施設がでてきて、それぞれのホームページにアクセスできるようになっている。多くの方は、これを利用しているのだと思う。市の観光サイト、カルストドットコムにも紹介がされている。実際にホームページを見たが、結構な情報があるし、分かりやすい。丁寧な情報があるので、観光で来てくれるのかと思う。ただ、各館のホームページには、場所の地図や交通アクセスが入っていない。このホームページの中に地図や交通アクセスを入れるといいと思う。カルストドットコムには入っている。

入館者の多い長登銅山文化交流館や秋吉台科学博物館は、参加型・体験型の企画がある。参加者や入館者の口コミサイトは、いいことばかりではないが、載せるといいと思う。

歴史民俗資料館を見ると、化石の情報も載っているが、化石は化石館があるので、将来的には、歴史民俗資料館は、美祢市の歴史や民俗に関する資料に特化したほうがいいと思う。入館料をみると化石館と歴史民俗資料館は別になっているが、一本化はできないのであろうか。両方入れるような形とか。

高橋文化財保護課長

既に、歴史民俗資料館に来られた人が多い中で、化石館と一本化してどうかと思う。

前田委員長

科学博物館の口コミを見ると、無料であることを知らなかったという投稿がある。ホームページに、無料であることを、目立つようにしたらどうか。また、博物館の近くに、無料であることが分かるような掲示があれば、もっと多くの入館者があるのではないかと感じた。

入館者が減ってきているのは、一度来た人がもう一度来るかということもあるが、課題としては、どのように入館者を増やしていくか。一度来られた方が、また来てみようと思えるような施設にならないのかと思う。ホームページのなかに、行ってみたいと思えるようなキャッチフレーズがあると、多くの人に来られるのではないかとと思う。また、集まるような企画を考えていけばいいのではないかとと思う。また、美祢市の各博物館を紹介する資料を各館に置いておけば、他の施設にも行ってみようという人もいるのではないかとと思う。今後、入館者が増える一つの方法だと思う。気になって調べてみたが、意外に多くの人に来られていることに驚いた。各館でホームページを更新したりしていることが、効いているのだと思う。今後も、入館者が増えるような企画を考えていただきたい。一方的な話になったが、感じたことを述べさせていただいた。何か意見はないか。

井上委員

以前から思っているが、普通、1つの市に博物館が1つ、美術館が1つが普通かと思っている。美祢市は、1市2町が合併し、色々なところに、博物館のようなものがある。長登銅山文化交流館にしても化石館にしても関連する場所

に建っているが、今までの計画は正しかったと思う。やはり、分散しているというのが、利用者にとっては、すごく行きにくいところがあると思う。いつかは、一緒にするべきだと思う。ただ、お金のかかることであるので、長期的に考えて、今後どうしようということを、教育委員会も市全体でも考える必要があると思う。一ヶ所があれば行きやすい。メインの秋吉台科学博物館の建替えも今後どう進むか分からないが、それに嘯ませて全部一つにできればと個人的には思う。分散していると人数が少なくなっていく。各々特徴があって、併せられないということもあるが、できれば、大きなものが1つあればいいと個人的には思う。10年先、20年先の計画でもいいと思う。

長登銅山文化交流館の小中学生の利用が少ないのが気になる。授業で使っているとは思いますが、市内に限らず市外にもPRして、小中学生に興味を持ってもらいたい。あまりにも、小中学生が少ないのもったいない気がする。

古屋委員

場所的に、個人で中学生が1人で行くのは難しいと思う。親と一緒にいくとかしないと難しいと思う。長登銅山文化交流館の小中学生の利用が少ないということもあるが、歴史民俗資料館の特別入館として、小学校の文化祭や音楽祭の時に、今も入るようにしているのか。

高橋文化財保護課長

特別にこちらから、働きかけはしていない。ただ、学校のほうから、文化祭の時とかに、見学をさせて欲しいという依頼がくる。

古屋委員

以前は必ず行くということとしていた。化石館と歴史民俗資料館と作品展をローテーションして全員が見れるようにしていた。もっと、小学生・中学生に、美祢市の歴史であるとか、美祢市の様子を知ってもらうような働きかけを、先ほどの長登銅山文化交流館と一緒にしていいたら、子どもたちの意識も変わってくると思う。団体というのがあがるが、大人の団体が多いのか。

高橋文化財保護課長

学校関係の団体もある。

古屋委員

子どもたちに、もっともっと見せたいと思う。

前田委員長

統廃合でスクールバスが増えているので、このスクールバスを利用し、小学校でも中学校でも郷土学習で見に行かせればと思う。

秋山委員

日本ジオパークに認定された。各学校も、特に中学校では修学旅行の前に長登銅山文化交流館に行って、事前学習をしたいという話を聞く。将来的には秋吉台の科学博物館をどうにかしなければならない日が来ると思う。リピーターが増えるよう、魅力ある施設になればと思う。イベントをすれば多くの人が来られているが、通常でも入館者が増えるようなものができればと思う。世界ジオパークを目指している。動くものが秋吉台科学博物館にあればと思う。恐竜の化石とか置いてあるが、何か口を開けて動くものがあればと思う。昔は伊佐の売薬も秋吉台を通過して、売って歩いていた。何か関連するものを展示できればと思う。

永富教育長

小中学生が博物館等を活用すればということであるが、来年度、ジオパーク学習の手引きを作るようにしている。その中で、博物館を利用したジオ学習といったものを作って、各学校が博物館等を利用できるようにしたらと思う。

前田委員長

あるものは、素晴らしいものがある。それを有効に使っていくことが必要ではないかと思う。宝の持ち腐れにならないようにしないといけない。地元が活用するのが一番だと思う。

今後の参考になればと思う。

井上委員

ホームページも、アクセスの仕方は大事だと思う。あると便利だと思う。

前田委員長

施設がバラバラに離れているので、よほど計画的に回らないと美祢市の博物館等を見てまわることができないと思う。次に美祢市に来た時には別の施設に行ってみたいと思えるような資料を作っておく必要があると思う。

永富教育長

ジオパークのビジターセンターを造って、色々な施設を紹介するとかいったこともあると思う。長期的には、井上委員が言われるようなことを計画を立ててやらなければならないのかもしれない。

前田委員長

次回、秋山委員がテーマを決め、提言を行うこととする。

前田委員長

続いて、協議・報告を各課から求める。

千々松教育総務課長

教育総務課に関する事項として、次の2点について協議報告する。

- ・秋芳南中学校及び秋芳北中学校の閉校式並びに秋芳中学校開校式について

秋芳南中学校閉校式 8:45

秋芳北中学校閉校式 11:00

秋芳中学校開校式 9:00

- ・秋芳北部地域統合小学校建設設計概要について
資料に基づき設計概要について説明する。

古屋委員

7つのコンセプトに沿ったかたちで施設が計画されている。特に、今後、目指すべき方向、美祢市だけではなく、教育が目ざさなければならないのは、「子どもと大人が共に学ぶ学校」であると思う。以前、夢が丘中学校ができたのは、10年以上前になるかと思う。地域と共に学ぶといった環境整備ができています。素晴らしい学校と思った。地域の方が図書室に自由に入ってきたり、子どもたちと一緒に学んだりといったことができるようになっていた。これからの学校のあるべき姿と思う。「地域交流センターとして、地域の方が、いつでも集い、楽しく過ごせます。」と書いてあるが、非常に素晴らしいと思う。少し設計図と異なるが。

千々松教育総務課長

具体的な設計図面が、まだ、追いついていない状況である。

津守学校教育課長

夢が丘中学校は、玄関を入れてすぐに交流室がある。入りやすいところにあった方がいいと思う。

古屋委員

地域の方がお茶をたてられたのを、子どもたちがいただいているとか、図書室と一緒に利用し共に学んでいるとかいう姿を見せていただいた。地域交流室と和室と図書室が近くにあったらいいと思う。

永富教育長

相互に活用しあえるようにしたらと思う。あまり隔絶された空間にならないように。図書室にどれくらい子どもが入れるかというものもあるが、ランチルームを使ったり、隣の交流室を使ったりということにもなる。あるいは、中央館で、ワークスペースに図書コーナーを設けるということも考えられる。色々な形が考えられる。

津守学校教育課長委員

図書室とかランチルームについては、管理棟との距離で、採光は大丈夫か。

千々松教育総務課長

採光がとれるよう設計してある。

井上委員

煌々と光が中に入るような感じではない。図書室で本を借りて、ランチルームで読んだり、交流室で読むというのにはありと思う。図書室は、暗いということはないが、明るいというほどではない。

学校教育課長

夢が丘中の例を言うと、地域コミュニティスペース等にプロジェクターとスクリーンが設置してあって、保護者や地域の方が来られた時には、子どもたちの様子の映像をながしたらいいと思う。

冷暖房完備の体育館を含めて約30億の事業費であった。

末岡次長

ジオの立場から言うと、そういうものより、教室まで入れるシステムを作るほうが大事だと思う。

津守学校教育課長

今まで取り組んできた様子を流すことはいいと思う。

福屋学校課長補佐

体育館までの距離が長いので、コミュニティスペースの活用が大事になる。音響設備の整備が必要かと考える。また、教室の外で洗い物ができる施設があれば、機能的になるのではないかと考える。

永富教育長

ジオパークのことが映像で分かるようにすることもあるかもしれない。

末岡次長

プロジェクターは固定式より可動式の方が便利と思う。

秋山委員

天体望遠鏡は移動式か。

千々松教育総務課長

ドーム型の天体望遠鏡は維持費がかかることから、移動式のを導入したいと考えている。

津守学校教育課長

- ・学力定着状況確認問題等について

資料に基づき、学力定着状況確認問題（10月27日・28日実施）の結果及び第2回授業評価の概要について説明し、これらを分析した上での、今後の学力向上に向けた取組について説明する。

古屋生涯学習スポーツ推進課長

生涯学習スポーツ推進課に関する事項として次の3点について協議報告する。

- ・成人式について
出席率71.4%（昨年度79.1%）
- ・市民大学講座について
2/20（土） 講師 佐々部 清（映画監督）
- ・勤労青少年ホームトイレの改修について
2階トイレの改修工事（2/8～3月中旬）

高橋文化財保護課長

文化財保護課については、特になし。

末岡次長

世界ジオパーク推進課に関する事項として次の1点について協議報告する。

- ・小中学校におけるジオ活動について
於福小学校…子どもジオガイド育成事業（1/15・1/19・他3回）
ふるさと大使 苑場凌氏によるパネルの書き方指導
於福中学校…ジオパーク弁当（1/20）
伊佐小学校…ジオ学習（1/21）
岩石標本作り

末岡次長

秋吉台科学博物館については、特になし。

井上美東事務所長

美東事務所に関する事項として次の1点について協議報告する。

- ・第34回美東町駅伝競走大会
2/7（日） 63チームの申込

安永秋芳事務所長

秋芳事務所については、特になし。

次回の定例教育委員会を平成28年2月29日（月）午後1時30分から美祢図書館「視聴覚室」において開催する旨を告げる。

午後4時57分委員会の終了を告げる。

平成28年1月28日